

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	961	英語指導助手(ALT)招聘事業	01	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	10	10	教育費
担当部課名		教育部 学校教育課	01	01	教育総務費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	03	03	義務教育振興費
		22-9676	102	102	児童生徒指導経費
			03	03	英語指導助手招へい経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市内小中学校児童生徒		市内小中学校における英語教育及び国際理解教育が充実するため、子どもたちが英語に関心を持つことができ、諸外国の文化に興味を持つようになります。そして、自分の進路につなげて考えるようになります。
本年度事業内容	1. 中学校へALTとして5名配置 2. 小学校へALTとして1名配置	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.16	0.14	0.14
人件費合計(A)	1,152	1,008	1,008
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	29,202	30,316	26,424
委託料	4,222	4,223	0
給料	17,516	18,869	19,200
使用料及び賃借料	3,323	3,204	3,204
その他	4,141	4,020	4,020
合計(A+B)	30,354	31,324	27,432
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担	1,494	1,601	1,601
その他特財			
一般財源	28,860	29,723	25,831
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
中学校ALT配置数	人	5	5	5			
小学校ALT配置数	人	1	1	0			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
中学校1クラスの英語科授業に入るALTの時間数	中学校において、英語科でALTが来校したときは、チームティーチングの形をとります。その時間数を指標としました。	時間	20 目標 (50)	50	55
小学校5・6年生1クラスの英語活動に入るALTの時間数	小学校において、総合的な学習の時間でALTが来校したときは、チームティーチングの形をとります。その時間数を指標としました。	時間	2 目標 (35)	5	35

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市内の中学校の英語科授業において、ALTを活用することで、本場の英語に触れることはもちろん、ALTの母国である世界各国について広く学習することができています。小学校においては、現在のところ、英語活動として、総合的な学習の時間にALTによる指導を行っています。身近な英語を理解することや言葉や文化に興味や関心を深めることを目的としています。今後は、中学校において、キャリア教育の一端として週に2回程度のALTによる学習支援を保障したいと考えます。また、小学校5・6年生に、週1回の英語活動を保障したいと考えます。

評価	必要性	4	市内12中学校においては、5名のALTが2～3校に巡回することで、それぞれの中学生在が生きた英語に触れることができていますが、小学校においては、1校で1週間程度の配置になりますので、すべての小学生が「生きた英語に触れる」機会とはなっていませんので、新たに小学校英語活動推進事業を起し、小学校5・6年生に週1回の英語活動の機会を保障したいと考えています。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	2		
				B